

南無阿弥陀仏は  
私のいのち



〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
発行所 真宗佛光寺派 西徳寺  
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796  
<http://saitokuji.tobiiryo.jp/>  
発行人 岸本秀一  
印刷 日生印刷(株) 03-6862-3263



## 「訪ねてほしい」

未曾有の震災から八ヶ月がたつた。予測を超えた事態が次から次へと押し寄せてくる。その中でも原発事故が中心的に扱われている。放射性物質の半減期が物によっては三十年、数万年、数億年といわれる。得体が知れない恐怖の中、東京で生活している。

幼稚園の芋掘りの案内には「放射能検査の結果問題なし」という言葉が添えられていた。中には幼い我が子のために、ペットボトルの水さえもどこで採取されたものか調べ上げて購入している親もいるそうだ。

豊かな生活を支えてくれた原発が、今は生活を制限し萎縮させていた。手に負えない事態を前にひたすら「なんとかしてほしい」と責任問題を叫ぶことしかできない自分がいる。そこには今まで生活を支えてもらっていたという気持ちなど微塵もない。ひたすら愚痴がこぼれてしまう。止めどなく溢れる不安に振り回される中で、何を頼りに生きていくべきか分からなくなる。しかし状況次第で移ろいゆく、當にならない自分の心を私だと思い込んでいる在り方が浮き彫りにされる。

阿弥陀仏の本願は自分の思いを破るはたらきだと教えられる。本願に出遇ったとき、自己を訪ねるという人生が開かれ、そこに初めて現実を生きるという意欲が湧いてくるということではなかろうか。

「どうか訪ねてほしい」という本願に目覚めた人々の歴史に訪ねていくことが願われていると感じる。

# 「出遇いにはぐくまれて」

台東区在住 横山 静子さん



今回は台東区竜泉にお住まいのご門徒さんの横山静子さんにお話を伺います。

## 父親の定年退職を機に

勤め人だった父が定年退職することになり、何か始めなければならぬと思い立ち、母と二人で「お好み焼き屋」を始めました。ずぶの素人ではじめは戸惑いましたが、当時、近所にあつた繁盛店を見習つたり、友人からもいろいろなノウハウを教えていただき、

行錯誤を繰り返しました。お店を始めて四十六年経ちますが、軌道に乗るまでは苦労しましたね。

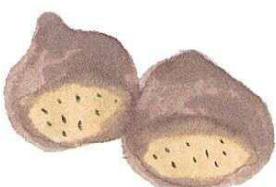
## 不思議なご縁を感じる

開店するにあたって、それまで勤めていた銀座・松坂屋を退職するのがとても残念でした。しかし、お店に専念するためだと覺悟を決めて、母と一人で再出発する決意をしました。不安を抱えながらの船出でしたが、松坂屋の同僚や会社関係の方々がたくさん来店して下さり、励ましてくださいました。

## お店が人生の原動力

数年前、娘家族と同居するため、お店を建て替えました。今は娘と二人三脚、新たなご縁に恵まれてお客様も増え、お陰様で繁盛しています。私にとってお店が生きる原動力になつております。これからも体力の続く限り、お客様に接していくたらと思っています。

(聞き手 木村主任)



な方にふれあう機会があるということです。

親の代からこの土地に暮らし、私も離れたことがありますから、地元のお客様に古

くからの繋がりを聞かされますと、はからずもご縁の深さを感じます。お店のことしかできない私ですが、大勢の方と出遇わせてもらえる大切な場所だと感謝しています。



頭を上げることしか考えない私に、

「帰命無量寿如来 南無不可思議光」と、身に響くお念佛がおこるのは、

私中心の立場がひっくり返された、

新しいのちの誕生がありました。

その感動の淵源には、あれさえ手に

入れば、この苦難さえ超えれば、迷いをかねながらも、ほんとうの幸せを見つけたいと願い続けてきた、長い歴史がありました。

その長い求道の歴史を、物語とし

て明らかにしたのが『大無量寿經』の法藏の物語です。そこに語られる法藏は、その昔、どのような人でも、ど

のような事柄でも思うままに動かすことのできる王様がありました。ところ

が、その法藏という王様は、世界に

おいて自由自在に生き、あらゆる人々の人生を生き生きと自在に全うするよう導く世自在王仏に出

遇つて、教えを聞くことになり、今まで大切に守ってきた国（財産）と王（名誉や権力）が儘い夢幻であつたと氣付かされます。そして、自分も目覚めた人・生き生きと生きる仏になりたいと決意し、惜しげもなく、國と王とを捨てて、ほんとうの幸せを

求めて、人々と共に助かる道を求める、菩薩として行動をおこすことになりましたと、説かれます。

私たちは、王様にはなれませんが、主人・主婦という言葉が語るように、

な生活をしたいのが、私たちであります。しかし、かりにステキな衣服を着、好物ばかりを食し、快適な所に住むことができて、イエスマンばかりに囲まれるようになったとしても、

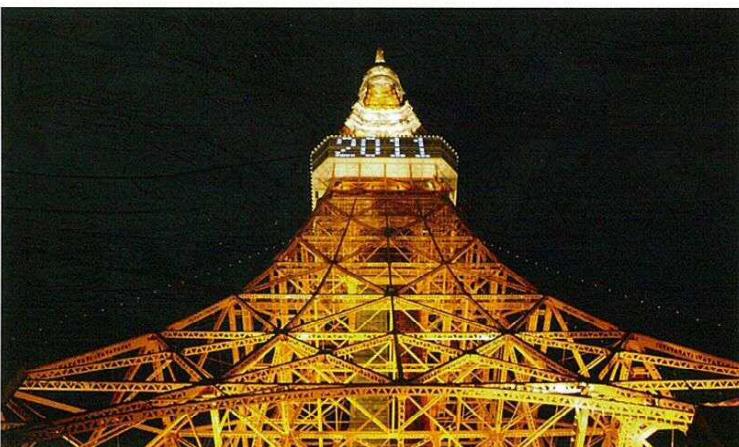
生きている限り死を免れることはできません。

その事柄に直面して知らされるのは、人や物事を思うようにできたと一時的に喜んでも、自分の身一つが思うようにならないという

厳粛な事実です。いや、この身はすでに、老い・病み・死ぬ

というその時の状況を、あるがままに受け止めて生きて

いるのに、それにい



### 正信偈の話③

## 「法藏菩薩因位時 在世自在王仏所」 松井憲一

ほうぞうぼさいんにじ  
ざいせじざいおうぶっしょ  
(法藏菩薩因位の時、世自在王仏の所に在して)

方です。

そうした、現在のわが身に満足できないことの偽装工作をご縁にして、真実に気付かしめようとするはたらきを、すべての人々が道を求める姿の原型として物語るのが、法藏菩薩の物語であります。だから、親鸞聖人は、「この「如意宝海よりかたちをあらわして、法藏菩薩となりたまいて、無碍のちかいをおこしたまうをたねとして、阿弥陀仏となりたまうがゆえに、報身如来ともうすなり。」(『一念多念文意』)といわれます。

すなわち、法藏は、かたちのない一如の真実から、迷つてはいる私たちのためにかたちをあらわしてくださつた姿であり、「帰命無量寿如来、南無不可思議光」と生きてはたらいてください、念佛もうさんとおもいたつこころそのものの魂であると、いえます。

だから、無自覚な私たちは、法藏であるとはいませんが、無自覚な者と知らされるが故に「法藏菩薩わざり」といわれます。

いつも王様になりたい根性で、生きているのではないでしょか。「動くかも主人にリモコン向けてみる」という川柳のように、相手を自分の思ふままにボタン一つで動かせるよう

つも反抗し、避けて通ろうとしている私の愚かさです。その愚かさが、かえってストレスを溜め、解決方法を自分で求め、ますます混迷を深めているのが、私たちの生き

# 「山門の言葉」

人の

一生涯を

苦である

貫いているのは

またここでは「生」も苦であるといわれています。私達がこの世に生まれてきたことや、今ここでこのように生活していることは、自分が親を選んで生まれたり、こうなりたいと願つてそうなつたのではないです。すべて業縁（人間のいとなみ）によるものであると教えていただいております。

では、私達の一生涯とはまったく思い通りにならないまま虚しく過ぎて終わっていくだけなのでしょうか。

西徳寺で開かれている聞法会の一  
つに「同行会」があります。その聞法会で出てきた言葉で、私の中に響いた言葉です。

私たちが何を苦と感じるかといえば、自分の思い通りにならないこと

であると教えられます。その原因は四苦「生・老・病・死」です。これらは決して免れることのできない苦であります。

またここでは「生」も苦であるとい

われています。私達がこの世に生まれてきたことや、今ここでこのように

生活していることは、自分が親を選

んで生まれたり、こうなりたいと願つてそうなつたのではないです。

すべて業縁（人間のいとなみ）によ

るものであると教えていただいております。

先日、健康診断を受診し、再検査が必要であると診断されました。ある程度自分の健康には自信があつたのですが、その自分自身の健康でさえ自分の思い通りにはなつていません。

やはり結果を聞いて落ち込み、不安な気持ちが募っていきました。その一方で、もう一度自分の生活習慣を見つめ直すきっかけになり、思い通りにならない現実であつても何とかしたいという思いが湧いてきたのも事実です。

通りにならない現実は、すべての人が抱えて生きています。その現実をときには共に悩み、ときには

ぶつかり合うようなよき人、よき友と共に生かされているのです。苦とはそういう事実に眼を開かせる大事な機縁だと思います。その現実に眼を向けさせるのが念仏のはたらきであり、それは人を通して教えられるものだと思います。



私たちの生きる力は、思い通りにならない現実の中からこそ湧いてくるのではないかでしょうか。そういうたったたくさんのいるのだと実感させられました。

など、とにかく落ち込みたくても落ち込む暇を与えようとしない方々がたくさんいるのだと実感させられました。

その中で周りにおられる方々の声も励みになりました。心配してくださいと頼つてそなつたのではないです。ある方や叱咤激励してくださる方

のところへお出でください。お出でください。

（蓮井 邦宗 記）

## 日誌



- 9月 27 日・28 日 宗祖忌
- 10月 1 日 混声合唱団「エコー」練習
- 10月 7 日・8 日 中興忌
- 10月 9 日 中央ブロック会総会・聞法会  
(西徳寺 参加者 30名)
- 10月 15 日 定例聞法会
- 10月 16 日 城東ブロック会聞法会  
(小岩区民館 参加者 27名)
- 10月 18 日 仏教青年会座談会
- 10月 19 日 婦人会聞法会  
本山リーフレットに聞く  
「私の親鸞さま」
- 10月 20 日 教行信証『信巻』に聞く(第 72 回)  
講師 宗 正元師
- 10月 21 日～31 日 本山茶所布教(木村主任)
- 10月 22 日 混声合唱団「エコー」練習  
同行会「正信偈の教え」に聞く  
法話 神山 多加志

## えこお志お礼



聖徳寺 様

正覚寺 様

大善院 様

板橋区 木下 吉江 様

葛飾区 小松 正秀 様

台東区 森下 幸雄 様

足立区 小林 志津井 様

越谷市 隠岐 弘子 様



# 掲示板

11月

- 5日(土)・6日(日) 報恩講  
両日布教使 永尾 道雄師
- 12日(土) 午後3時半 混声合唱団「エコー」練習  
午後6時 同行会「正信偈の教え」に聞く  
法話 高橋 淳
- 13日(日) 午後2時 城西ブロック会聞法会  
(中野商工会館)
- 15日(火) 午後7時 仏教青年会報恩講  
講師 大下 勝師
- 19日(土) 午後1時半 定例聞法会  
午後3時半 混声合唱団「エコー」練習
- 20日(日) 午後2時 城北ブロック会聞法会  
(大塚 大和田)
- 22日(火) 午後1時半 教行信証『信巻』に聞く(第73回)  
講師 宗 正元師
- 26日(土) 午後6時 同行会「正信偈の教え」に聞く  
法話 大橋 伊知郎
- 27日(日) 午後5時半 ヒナタカコ コンサート  
(西徳寺本堂)
- 30日(水) 午後12時半 婦人会食事会  
(上野の杜 韻松亭)

12月

- 3日(土) 午後3時半 混声合唱団「エコー」練習
- 10日(土) 午後6時 同行会「正信偈の教え」に聞く  
法話 蓬井 邦宗
- 14日(水) 午後1時 婦人会聞法会  
本山リーフレットに聞く  
「いま、お寺は」
- 17日(土) 午後1時半 定例聞法会  
午後3時半 評議員会定例役員会  
午後3時半 混声合唱団「エコー」練習
- 22日(木) 午後1時半 教行信証『信巻』に聞く(第74回)  
講師 宗 正元師
- 31日(土) 午後3時 歳暮法要



## 編集後記

先月、トルコ東部でマグニチュード7.2の地震が発生し、多くの犠牲者がいました。トルコは地震多発地帯にあり、1999年にも17,000人以上の死者を出す大地震が起きています。

今年3月に起きた東日本大震災に大きな衝撃を受けた私たちですが、同じ痛みを持つ者として国との違いはあれども、復興に向けてお互いに支援できることを考えていくことが求められているのだと思います。

(木村主任)

西徳寺ホームページアドレス：<http://saitokuji.tobiiryo.jp/>

